



# 鷺山小だより

令和2年12月22日(火) 第9号



## コロナ禍の2020が終わります

3月からの一斉休校、4月に入り予定通りに入学式を行うことができず、6月に入ってからの入学式・始業式。さらには分散登校から一斉登校へと普通の学校に戻るまで多くの月日を費やしました。でも、そこには「三密」を避けるという大きな課題があり、学習活動や日常生活で多くの規制がかかり今までにない「新しい生活様式」をしなければなりません。このような中で、コロナと戦いながらできる限り子どもの学びを保証し鷺山の教育を実践してきました。

第三波が叫ばれ、年末・年始も油断ができない状況となっています。春先に比べ高校生や大学生の若者と高齢者が感染する割合が高くなってきていると報道されています。学校では、手洗いやマスクの着用、全員前を向いての給食、換気を十分取るなどのコロナウイルスに対する基本的な対策や新しい生活スタイルを今後も継続していき、ストップコロナを実践していきます。

### ■6年鷺山カップ



11月26日快晴の下、6年生の鷺山カップが開催されました。10月の日帰り修学旅行に引き続き、何か思い出になることを行いたいと先生方が考え、午前の2時間を使って行いました。

各学級を3団(赤、青、黄)に分けそれぞれ団長を決め、優勝を目指して競技を行いました。種目は①障害物競争②借り物競争③大縄④ダンシング玉入れ⑤引越しリレー⑥リレー⑦応援(発声なしで行うこととする。)の7種目で、役割分担も決め、進行、出発、採点等の仕事をそれぞれの児童が責任を持って行いました。応援についてはコロナ対策を十分とった上での実施となりました。制限時間4分、使用できるものは鳴り物と手拍子のみとし、大人数での発声はなしとしました。声のない応援は初めての経験で、果たしてうまく行くのか少し心配でしたが、3団とも応援リーダーを中心として手拍子が揃い素晴らしい応援でした。個人競技も精一杯の姿があり、見ていてとてもさわやかな気持ちになりました。優勝は青団でしたが、勝った負けたの勝負より、6年生のみんなが青空の下思いっきり体を動かし、思い出の1ページを作ることができたことに大きな価値を見出した1日でした。

6年生の保護者の皆様にも見ていただきたかったです。三密を避けなければならず、開催のご案内をせず実施したことをご理解頂きたいと思います。

このようにコロナ対策をとった上で、学年単位での活動を徐々に増やしていきたいと考えていますが、感染状況を鑑みながらの判断となることをご理解下さい。

### ■お知らせとお願い



○保護者の皆様、地域の皆様、日頃からお世話になりありがとうございます。コロナ禍の中、多くの活動に制限があり、例年のように活動ができなかったが、子どもたちが笑顔いっぱい学習や活動に取り組めたのも、皆様のご支援とご協力があったことです。2021年もどうかよろしく願いいたします。どうかよいお年をお迎えください。

○本当に行事を行う事の出来ない1年でした。授業参観や運動会など多くの大切な行事が中止となりました。「年が明ければ元に戻るのか？」と問われれば、「NO」としか言えません。まだまだ、コロナとの戦いは続きます。その中でもできることを考え、少しずつ前進していきたいと考えています。保護者の皆様におかれましては何卒ご理解・ご協力をお願いします。

○学校のホームページが新しくなることはお伝えしましたが、アドレスをお伝えしていませんでした。パスワードはかけていませんので、どなたでもご覧いただけます。お子様の様子をご覧いただければ幸いです。(パスワードをかけることに関しては今後、青山中校区の学校で相談します。)

ホームページのアドレス <http://gifu-city.schoolcms.net/sagiyama-e>

